

体協キャラクター
たちえもん たちみちゃん

スポーツ たちかわ

(特非)
立川市体育協会

〒190-0015 立川市泉町786-11

泉市民体育館内

TEL・FAX 042-534-1483

発行責任者 河内 勝正
編集責任者 高橋 廣

e-mail bz821830@bz04.plala.or.jp



謹賀新年



新年のご挨拶



立川市長
清水 庄平



新年明けましておめでとうございます。

貴会会員の皆様におかれましては、爽やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より本市のスポーツ振興に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催され、日本人選手の活躍に日本中が歓喜しました。世界トップクラスの選手のプレイは、スポーツの持つ醍醐味、

年頭にあたって



特定非営利活動法人
立川市体育協会会長
河内 勝正



新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。皆様方には、日ごろから当会諸事業に深いご理解と多大なるご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。昨年は、リオデジャネイロオリンピックでの史上最多のメダル獲得等、日本人選手の活躍が私たちに多くの感動を与えてくれました。

当会も創立70周年を迎え、泉市民体育館まつり(市民スポーツフェスティバル)、指導者育成講演会、記念式典・祝賀会な

すばらしきとともに、多くの感動を私たちに与えてくれました。そして、いよいよ二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツへの関心が国民的な盛り上がりへとつながることが期待されています。

日々の生活の中にスポーツが自然と溶け込み、誰もが健康でいきいきと豊かに暮らす社会の実現は、東京大会が目指す大会後の「レガシー(社会的遺産)」のひとつでもあります。

市といたしましても、市民の皆様が生涯にわたってスポーツに親しみ、楽しみながら健康づくりに励み、一人ひとりが生きがいを持ち、充実して人生が送れるよう支援していきたいと考えております。そのためには、日頃より、市内の各地域でスポーツ振興にご尽力いただいている、貴会のご協力は欠かせないものであります。今後、貴会会員の皆様の一層のご支援を切にお願いする次第であります。

結びに本年も貴会の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私の新年のご挨拶といたします。

どの各種行事や2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に中期構想の推進に努めてまいりました。

特に、市民スポーツフェスティバルや陸上教室・キャッチボール教室等で子ども達の嬉々とした姿を見て、スポーツに興味を持たせる環境づくりの重要性を再認識いたしました。

また、指導者講演会では、体幹トレーニングの重要性を知るとともに、それを実践している青山学院大学の箱根駅伝・出雲駅伝・全日本大学駅伝等での実績や明治大学の箱根駅伝・ニングを取り入れ箱根予選会で2位となり本戦出場を果たしたことなどから、成長期の子どもの体力づくりとして正しい姿勢とバランスを重視する体幹トレーニングの体験を、普及させる環境づくりの必要性を強く感じました。

本年も、昨年に引き続き、これら施策の推進を図り、多くの市民がスポーツに親しめるよう努力していく所存でございますので、皆様の一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

創立70周年 式典祝賀会

11月12日パレスホテル立川にて「立川市体育協会創立70周年記念式典・祝賀会」が開催されました。多数のご来賓の方々にご参加頂き、約270名の皆様と節目を祝いました。

式典では、和やかな雰囲気の中、清水立川市長並びに東京都体育協会並木理事長等の方々からご祝辞を賜りました。式典後、空手道連盟の子供たちが演武を披露。その迫りに会場が一瞬静まった後、大きな拍手に包まれました。

その後鏡開きが行われ、立川市教育委員会小町教育長による乾杯のご発声の後、盛大な祝賀会がスタートしました。

2020年東京オリンピックに向け、団結と絆を再確認する有意義な会となりました。



ご挨拶

立川市産業文化スポーツ部
スポーツ振興課長
久保 義彦



貴会の皆様におかれましては、日頃より本市のスポーツ行政に深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

平成28年4月1日の人事異動で産業文化スポーツ部スポーツ振興課長を拝命いたしました久保と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、先のリオデジャネイロオリンピックでは、日本選手団が金メダル12個、銀メダル8個、銅メダル21個とメダルを量産、パラリンピックでも日本選手団は過去最多の24個のメダルを獲得し日本中に夢と感動を与えてくれました。なかでも、団体戦での勝負強さは際立っており、仲間のため、先輩のため、日本のためなど、自分以外の誰かを思う気持ち、助け合いの精神といった日本の良き国民性を改めて思い知らされました。

立川市は、周辺他市に比べスポーツが盛んな特性があるものと認識しておりますが、これは市内12の地区に地域スポーツクラブとして東京都より認定された体育会が存在し、日頃より子どもから高齢の方に至るまで、その地域性を活かしながら、様々なスポーツに取り組むという土壌が大きく寄与しているものと考えております。

貴会の皆様には、市民大会をはじめ多くのスポーツ活動にご尽力をいただいておりますが、今後、4年後の東京オリンピック・パラリンピックを見据えた活動も更に活発になります。皆様の一層のご支援、更なるご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

立川シティ ハーフマラソン2017

TACHIKAWA CITY HALF MARATHON

3月5日(日)
開催
雨天決行

併催 第20回 日本学生ハーフマラソン選手権大会
兼 第29回ユニバーシアード競技大会日本代表選手選考競技会
ニューカレドニア国際マラソン姉妹提携
RUN as ONE -Tokyo Marathon 2018(準エリート)提携大会

スタート時間・場所

ハーフマラソン

9時30分 陸上自衛隊立川駐屯地滑走路

3kmレース

11時30分～ 国営昭和記念公園内

親子ペアレース

13時00分～ 国営昭和記念公園内

※大会当日は午前9時30分頃から午前11時30分頃まで周辺道路で交通規制が実施されます。ご協力をお願いいたします。

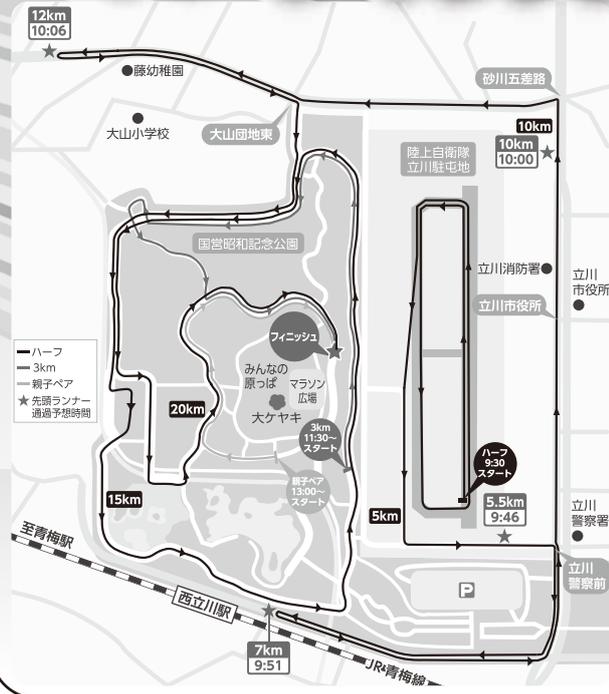
※応援の方々へ、自衛隊駐屯地正門からは入れません。詳しくは大会ホームページをご覧ください。

大会ホームページ

<http://tachikawa-half.jp/>

立川シティ2017

検索

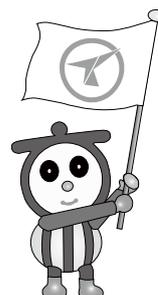


平成28年度
体育協会表彰

(敬称略)

◆功労賞

団体名	氏名
陸上競技協会	井上 克巳
バドミントン協会	原 訓子
ゲートボール協会	戸島 武雄
柴崎町体育会	三原 清二
	栗原 誠
錦町体育会	片小田廣治
羽衣町体育会	笠松ヤエ子



◆特別優秀選手賞

団体名	氏名	摘 要
バドミントン協会	一戸 和美	第7回世界シニアバドミントン選手権大会 35歳以上女子ダブルス 優勝
水泳協会	佐山 佑助	種目水泳長距離4×100mメドレーリレー・320～359才代 2015年度世界マスターズランキング世界第1位
	駒野 誠	
	宮内 勤	
	門雀 準司	

◆優秀選手賞

団体名	氏名	摘 要
陸上競技協会	福丸 裕子	第36回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 女子50歳～54歳の部 60m 第3位・100m 第3位
水泳協会	福留 京将	第17回東京都日本泳法競技会 中学生男子横泳競泳25m(大会新記録)・50m ・中学生以下混合100mリレー横泳競泳各第1位
	荒井 湧介	第17回東京都日本泳法競技会 中学生以下混合100mリレー横泳競泳第1位
	西島 翔太	
空手道連盟	前川 駿大	第37回全日本少年少女武道錬成大会空手道競技大会 小学5・6年生の部 優勝
	西元 快	
	坂本 直哉	
	小島 海斗	第23回全国中学生空手道競技大会 男子団体形 第3位
	高野倉 大樹	
	門倉 承音	
	森村 颯	
寄田 龍樹	平成27年度ジュニアオリンピックカップ 第10回全国中学生空手道選抜大会 中学2年女子組手 第3位	
河野 将也		
立川第五中学校	坂本 昂平	第42回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子200m 第1位・男子4×100mリレー 第5位
	中川 登生	第42回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子4×100mリレー 第5位
	岡本 璃久	
	豊田 日向	2015全日本青少年空手道選手権大会 中学校3年生男子軽量級 第3位
上砂川小学校	平岩 佑陸	第38回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 11～12才男子バタフライ 100m 第3位・平泳ぎ 100m 第6位
バドミントン協会	鈴木 秀治	第8回全国トリプルスバドミントン選手権大会 一般男子 準優勝
	藤田 真生	
	町田 信代	第8回全国トリプルスバドミントン選手権大会 一般男子 準優勝

平成28年度 ジュニア育成地域推進事業

ジュニア育成水泳合宿

10月8日(土)9日(日)長野県菅平プチホテルズンタックにおいて合宿を行いました。例年は2泊3日でしたが、今年は10月10日の泉市民体育館まつり参加のため1泊2日になりました。

菅平はラグビーやテニスの夏合宿地としても有名ですが、宿舎のズンタックは冬の間の水泳合宿地としても知られており、リオデジャネイロオリンピック200m平泳ぎメダルの金藤理恵選手も練習をした場所です。宿舎は2段ベッドの大部屋で、広い談話室や卓球場、洗濯場なども完備され、高原野菜を使った食事も美味しく合宿地として素晴らしい環境です。

プールは滞在中全面使用可能で、早朝6時から練習をすることが出来、子供達は眠い目をこすりながらも元気にプールに集まり、ハードな練習に取り組みました。午後も2時間半の練習をしました。

今年には天候に恵まれず雨模様が続く、外で遊ぶことはできませんでしたが、室内プールでの練習の後は大きなお風呂につかり練習の疲れ



を癒しました。

普段と違う環境で集団生活をし、水泳練習をする事は子供達にとつて負担が大きかったと思いますが、自分の世話は自分でするしかなく、水泳だけに集中しなければならぬ合宿は本人にとつて得るものが大きかったと思います。

立川市水泳協会
副会長 大河内二三子

バスケットボール

立川市内の中学校は市立中学校9校の他に、都立立川国際中等教育学校と西東京朝鮮第一初中級学校の2校を加えた11校で構成されており、そのすべての中学校に男女のバスケットボール部があります。東京都および立川市体育協会のご支援により、本協会では下記のことを達成するために、約10年前よりジュニア育成地域推進事業として「バスケットボールクリニック」と「立川市中学生選抜招待バスケットボール大会」という

2つの事業を中心に取り組みを進めてきています。本事業を地道に継続してきた成果が、部員数の増加や戦績の向上にも表れてきており、普及と強化の両面に渡る充実を図ってきました。

昨年9月に開幕したバスケットボールのbリーグ2部3部の公式戦を泉市民体育館、柴崎市民体育館で開催し、小中学生を無料招待して頂いたことなどで、本市におけるバスケットボール熱のさらなる高まりを感じることができました。また、3×3(コート半分での3対3の試合)においては本市にもプロチーム「立川DICE」が誕生し、プロリーグでは準優勝を果たした他、市内各所におけるイベントにも積極的に参加するなど地域にも貢献してくれています。

※目的

- (1) 競技力向上をめざした選手育成とバスケットボールの普及
- (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた市民の意識高揚
- (3) 青少年の健全育成

【バスケットボールクリニック】男女各約50名の中学生を対象に、3×3のプロチーム「立川DICE」の選手の皆さんによる講習会を開催した。

【立川市中学生選抜招待バスケットボール大会】

立川市中学生の男女選抜チームを編成し、近隣五市(国立・国分寺・小平・小金井・昭島)の選抜チームと交流試合を行い、今年度は男女共に優勝することが



昨年9月に開幕したバスケットボールのbリーグ2部3部の公式戦を泉市民体育館、柴崎市民体育館で開催し、小中学生を無料招待して頂いたことなどで、本市におけるバスケットボール熱のさらなる高まりを感じることができました。また、3×3(コート半分での3対3の試合)においては本市にもプロチーム「立川DICE」が誕生し、プロリーグでは準優勝を果たした他、市内各所におけるイベントにも積極的に参加するなど地域にも貢献してくれています。

できた。

立川市バスケットボール協会
永井一彦(立川八中)

ソフトテニス実技研修会

全日本女子監督の田中先生をお招きして行っている、ジュニア育成実技研修会は、10年目を迎えました。中学生、中学顧問の先生を対象に参加者約100名で行っています。上手くなるためのポイントや、視点を変えた練習方法などを行ない、選手の技術向上や指導のためのヒントに役立っています。

さらに、今年度は小学生のテニス教室も行ない、ラケットにボールを当てるから始めて、コートで楽しく遊べることを目標にしています。ソフトテニスは、ラケットが軽く振りやすく、ボールが柔らかいゴム製で、踏んで怪我をすることはまずないため、安心して取り組んでいただけと思っています。

また、別事業として毎年5月に、中学生、小学生を中心に初心者教室を開催しています。5回の講習を行ない、試合ができるようになることを目標に指導を行っています。

次年度も今年と同じ内容になります。が、小学生教



室の回数を増やして取り組んで行く予定です。

ソフトテニス連盟
鎌田幸雄

ジュニアバドミントン教室

平成28年12月3日(土)に柴崎市民体育館にて、中学生を対象としたジュニアバドミントン教室を開催しました。当日は講師にヨネックスの木下美紀さんを迎え、参加した51名の中学生は技術指導等をしていただきました。

ヨネックスの木下さんは、基礎体力を作るためのトレーニング・基礎的な打ち方を細かく教えてくれました。バドミントンに必要なリズム感・バランス感覚・タイミングを重視した講習で、参加した中学生も楽しんで取り組んでいました。

ジュニアバドミントン教室は、これからのバドミントンにおけるジュニアの育成には重要な事業であると考えます。来年度以降も実施し、中学生の技術向上を行っていきたいと思っています。

立川市バドミントン協会
会長 馬場克久



空手ジュニアスポーツ大会

平成28年11月20日柴崎市民体育館にて、ジュニア育成地域推進事業としてジュニアスポーツ空手道選手権大会を開催しました。今回で10回目(この大会に、選手134名、役員父兄約250名が参加。

小学低学年・中学年・高学年、中学生、高校生の5カテゴリーに分け、形、組手ともに3名1組のチーム団体戦を実施しました。各コートで仲間を応援する声飛び交い、観客席からも選手を勇気づける声援が溢れていました。チームの勝利を喜び選手、悔し泣きする選手、そして選手を称える大きな拍手。一つの試合、一つの技に会場が一体となり非常に盛り上がりしました。

個人戦とは異なり、協調性や



団結心など団体戦でしか得られないモノを選手一人ひとりが感じ、非常に有意義な大会となりました。

東京オリンピックの正式種目に採用が決まり、空手は本大会を含め、大変な盛り上がりを見せております。

団体戦のみのこの大会をはじめて10回目。今年は、全日本少年少女武道錬成大会(小学5・6年の部)にて二連覇を達成しました。

立川市空手道連盟

萩原伸一

ジュニア水泳教室指導者研修

昨年同様立川市出身の元北京オリンピックスイマーの中野高さんを講師に迎え、プールでの実技講習及び研修室での机上講習を全4回実施しました。

ジュニア育成選手のレベルアップ方法・水泳初心者への対応、指導員の泳力向上等、多岐にわたって指導して頂きました。また、新たなドリル(練習方法)の習得や指導中の悩みについても、きめ細やかなアドバイスを



受け充実した研修会となりました。

この研修会がいつか実を結び、将来立川市水泳協会からオリンピック選手が育って欲しいと願っています。

立川市水泳協会

指導者養成委員長

北川由美子

自転車競技の報告

立川市自転車競技連盟は、平成21年4月から、正式に体育協会に加盟をさせて頂き、下記の項目に分けて計画し、ジュニア育成地域推進事業を実施してきました。

平成25年東京国体自転車競技では、地元立川で総合優勝をすることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。「自転車の町立川」作りに公営事業部や地元企業の協力を得て、小・中学生及び、昭和第一学園高校の生徒を育成・強化してまいりました。高校生としては、平成23年度、平成24年度の高校総体2連覇、選抜大会を含めると国内での全タイトルを勝ち取るなど、輝かしい結果をだしております。いずれも平成25年度の国体を見据えたジュニア推進事業としての環境作りに立川市をは



じめ地域の皆様にご協力を頂き、継続した練習環境ができました。トラック競技は、立川市公営事業部の協力を得て、立川競輪場を使い練習や大会を通じて育成を行っています。自転車競技は、競輪場で行う競技だけではなく、一般公道を使って実施するロード競技があります。ロード競技は、多摩地区の八王子、福生、あきる野、青梅、松原等、実際に東京国体で使用したコースを使って練習を重ねています。交通事情も良くない地域で、事故もなく練習が出来ていることは、皆様のご協力を頂いている結果だと思えます。

今年度のジュニア育成は上記の環境のもと、トラックは立川競輪場で強化練習会を、ロード練習会は奥多摩周遊道路を利用したコースで開催いたしました。今後、公営事業部や、地域の皆様の協力を得て、ジュニア育成事業に力を注いでいきたいと思えます。

立川市自転車競技連盟

伊藤栄一郎



上競技場で実施し、今年度は、11月3日(祝)に、泉町野球場で200mハードルアジア記録保持者の秋本真吾先生をお迎えして、特別教室を実施しました。陸上競技の基本をわかりやすく、教えていただきました。ウォーミングアップから始まり、姿勢について、リラクセスした腕の振りについて、脚の運び、足(つま先)の使い方、スタート、ハードル等の実技を小学1年生から中学生に指導していただき、とても好評でした。

記録会は多くの種目を体験し、各自の能力と可能性を発見でき、現在の記録を確認することでこれからの課題を考え、目標を持つ練習に取り組むことができました。

1月には、小学生ロードレースを実施します。立川市役所前をスタート・ゴールとして2kmのコースです。

最後に情報・システム研究機構、警察、交通安全協会、体育協会をはじめ多くの方々のご協力に、感謝申し上げます。

立川市陸上競技協会

理事長 飯塚智子

陸上教室・記録会・ロードレース
平成28年度ジュニア育成事業は、陸上競技教室を4月10日(日)より10月18日(日)の毎週日曜日午前10時~12時、立川公園陸

新体操ジュニア実技講習会

平成28年5月28日(土)・29日(日) 8月17日(水) 泉市民体育館において、ジュニア育成地域推進事業として、新体操ジュニア実技講習会を行いました。小学2年生から、中学生、高校2年生まで57名の参加がありました。

指導は、第2回四大陸新体操選手権大会で団体優勝の経験をもち、エジプトやシドニーでの四大陸新体操選手権大会のコーチを務められた佐藤昌子さん、そして、立川市新体操連盟の五明みさ子会長です。(五明会長は、シドニー・北京オリンピックでは新体操団体ヘッドコーチ。スポーツ祭東京2013では、新体操強化ヘッドコーチを担い、チーム東京を優勝に導きました。)

東京ジュニアや中体連の大きな大会前の実技講習会となり、選手たちは大会でのそれぞれの演技を申告書を見ながら点検し、演技一つ一つに対して細かくアドバイスをいただきました。

また、東京女子体育大学・東京女子短期大学 新体操競技部の選手の方々が模範演技を披露してください、目を輝かせて見ていた子ども達にとって、めざす目標が明確になったと思います。10年続くこの事業を経て、卒業生の中には、新体操部活動



で全国の中でも高いレベルの高校へ進学し、団体出場や新人戦などの大会で優秀な成績を収めている方もいます。

ジュニア育成地域推進事業では、新体操専用マットがレンタルでき、本番と同じマットの上で十分に練習できることは、選手たちにとってとても貴重な練習となります。これからも、子どもたちの持つ力をさらに伸ばしていけるように、講習の環境をよりよく整え育成に努めてまいります。

立川市新体操連盟

副会長 坂下香澄

平成28年度

シニアスポーツ振興事業

シニア水中ウォーキング教室

60歳以上を対象に泉市民体育館プールで9月、10月の日曜日11時から12時の1時間、全8回の教室を実施しました。

企画した当初、本当に参加者が集まるのか心配でしたが、募集案内が掲載された「広報たちか

わ」が発行されると2日間で定員オーバーになりました。

先着15名の募集に30名の応募があり水中ウォーキングの人気の高さを再認識しました。60歳代から80歳代とちよっと体力が気になる年齢の方もいました。が、皆さん元気そのもので心配無用でした。

足の運び、腕の振り、正しい姿勢で歩行する重要性を理解してもらい、有酸素運動を意識したウォーキングを実践しました。陸上とは違い足腰への負担が少なく1時間運動を続けましたが、水から上がる時はさすがに皆さん疲れた様子でした。ただ、回を重ねる毎に心地よい疲れを感じる様になったとの感想が出る様になり、このままずっと続けたいとの希望者もありました。

水泳協会では通年で水中ウォーキング教室を開催していますので、ご参加をお待ちしています。

立川市水泳協会

指導委員長 山崎和子



シニアダンススポーツ大会を実施して

日頃競技会に出場している選手をリーダーに一般会員が加わったの、にわかチームでの団体戦ミニコンペをメインに毎年開催して来ました。今までの敬老パーティーとは違い、実戦と同様競技となると参加者も意気込みが異なってきました、単に個人戦とは異なって団体戦ですと少し気楽に参加出来る様です。賞品のお花も好評です。



今一つの催しトライアルもサークルで練習している者同志の技術発表ですのでこれも好評です。

近年高齢化で残暑厳しい秋分の日頃は避けてとの声も有ります。春のスポレク、秋のシニア大会と今後も定着出来る様努力して行きたいと思っています。

立川市ダンススポーツ連盟
会長 稲田義四千

吹矢レクリエーション大会

第一回シニア吹矢交流会を平成28年6月26日柴崎市民体育館(第二体育室)にて開催。

午前9時～午後4時まで60代・70代の皆さん51名が参加され日頃の練習の成果を発揮し、



楽しく元氣な交流会となりました。

参加者の方から大変楽しかったのでは是非来年も続けて欲しいとの声が多数ありました。

平成29年度はシニアを対象とした吹矢体験会を開催し6月4日柴崎市民体育館(第二体育室)の第二回シニア吹矢交流会には多くの方に参加して頂きたいと思っています。

簡単・楽しい・体に良いをスローガンとし平成29年度は無料吹矢体験会を月1回位実施し、楽しいシニアコミュニティを拡大して行きますのでお気軽にレクリエーションスポーツとしてご参加下さい。

ゲートボール大会

例年通り今年もシニアスポーツ振興事業の春季及び秋季ゲートボール大会が、砂川中央地区北多目的運動広場において大勢のご来賓をお迎えして盛大な競技を実施することができました。この大会は、市民大会と共に立川市内で活躍する各ゲートボールの年度における最大の祭典です。春は、5月18日に、また秋は10月12日に予定通り開催さ

立川市吹矢レクリエーション協会
会長 河西信祐



れ、いずれも100名ほどの参加者が集り、5名組織のチームが春は18チーム、秋は16チームで競技が行われました。予選各3試合の後、トーナメント戦での決勝大会が夕方まで行われ、終日各地区のクラブ員が技を競い優勝から第4位までの入賞を目指して熱戦が行われました。春は最近メンバーが充実してきた若葉会チームが優勝し前回より2連覇、秋は西明和会Aチームが見事難関をなぎ倒しての優勝を果たしました。最近はこのチームも実力が拮抗し優勝をすることが難しくなっています。どこのチームも優勝出来る楽しみが出てきたようです。日頃の練習が実を結ぶような状況が多くなって理想的な運営が図られています。入賞したチームには大型のメダル等が授与され、大会の華やかさを飾りました。シニアスポーツ振興事業での支援を受け更に重要な大会として発展していきたいと考えています。

立川市ゲートボール協会
会長 吉井保子

平成27年度 優良選手表彰

(敬称略)

第一中学校

第61回全日本中学校通信陸上競技東京都大会

男子低学年4×100mR 第2位

鈴木 朴哉 中島 佑気ジョセフ

高山 雅暉 楠 亮太

男子3年 100m 第5位

五十嵐 健太

第68回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会

男子2年 100m 第3位

楠 亮太

男子3年 110mH 第7位

第54回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会

男子共通 110mH 第7位

関谷 康生

第三中学校

第67回東京都中学校選手権水泳競技大会

女子400m 自由形 6位

一戸 亜美

第65回東京都中学校ソフトテニス選手権大会

男子団体戦第5位

ソフトテニス部

藤本 陸 高橋 海斗

山崎龍之介 河合承太郎 久保田偉文

小林颯一朗 関田 智仁 丹園凜太郎

男子個人戦第5位

藤本 陸 高橋 海斗

男子個人戦第9位

久保田偉文 山崎龍之介



第五中学校

第26回東京都中学校体別女子柔道選手権大会

柔道女子63kg級 第5位

大下 美穂

第39回関東中学校水泳競技大会出場

男子50m自由形 26秒90

福留 京将

空手道連盟

第29回東京都小学生空手道選手権大会

小学4年生男子 形の部 第3位

上田 大生

小学6年生女子 組手の部 準優勝

高野倉 真央

小学2年生男子 組手の部 準優勝

岸本 康生

新体操連盟

第35回東京都中学校

平成27年度東京都中学校新体操学年別新人大会

1年リボン 第1位

佐竹 日和

柔道連盟

冲永社一杯第二十六回東京都少年少女学年別

柔道選手権大会

小学六年生 少年中量の部 優勝

河南 政伸

柏町体育会

第50回関東地域春季水泳競技大会

8歳以下 男子50mバタフライ 第6位

田中 輔

相撲連盟

第44回東京都中学校学年別相撲大会

個人の部 2年 第三位

吉田 優力

少年野球連盟

東京都知事杯第4回東京都女子学童軟式野球大会

第3位

レディース立川

妻鳥 一花 上野 華望 加藤 和奏

加藤 和香 比留間砂羽 梅田 和花

魚住菜南美 筒井 杏奈 荻野 優

山口 菜南 可児 智花 佐藤彌都希

高橋 彩 北村 遥菜 吉野穂乃香

小倉 愛乃 山屋 愛 松川ななみ

一箭希々花

監督 木崎 茂

コーチ 山内 昇 高地 芳康

堀内久美子





平成28年度 普通救命士講習会終了

主催：(特非)立川市体育協会

12月4日(日)、泉市民体育館第2体育室に於いて、新規受講者・再受講者25名の皆さんが、立川消防署・東京防災救命協会指導者による緊急時の対応・AEDの使い方等の熱心な指導の下、真剣に取り組んでいました。

受講者の皆様は、家庭や職場で又スポーツの指導者として、緊急時に遭遇した場合冷静に対応してくれると思います。

この講習会は今回で9回目となりましたが、これからも多くの方に参加していただきたいと思います。

第70回 立川市民体育大会

地区対抗種目得点表 12月25日現在

種目	地区名	富士見町体育会	柴崎町体育会	錦町体育会	曙町体育会	高松町体育会	羽衣町体育会	砂川体育会	栄町体育会	若葉町体育会	西砂川地区体育会	幸町体育会	柏町体育会
軟式野球		3.0	10.0	5.5	5.5	3.0	3.0	5.5	8.0	11.0	5.5	9.0	3.0
ミニテニス		10.0	3.0	9.0	3.0	4.0	8.0	5.0	6.0	11.0	3.0	7.0	3.0
ソフトボール	男子	5.5	-	9.0	5.5	8.0	-	5.5	11.0	5.5	10.0	3.0	3.0
	女子	5.5	-	9.0	-	3.0	10.0	5.5	3.0	11.0	-	8.0	5.5
水泳	男子	7.0	3.0	10.0	3.0	3.0	5.0	11.0	4.0	8.0	3.0	9.0	6.0
	女子	6.0	3.0	9.0	5.0	3.0	-	11.0	3.0	7.0	4.0	10.0	8.0
ゲートボール		6.0	9.0	4.0	8.0	3.0	10.0	7.0	-	5.0	11.0	3.0	3.0
陸上競技	男子	8.0	4.0	11.0	-	5.0	3.0	9.0	3.0	10.0	3.0	6.0	7.0
	女子	4.0	3.0	10.0	3.0	5.0	9.0	6.0	-	11.0	3.0	7.0	8.0
バレーボール	男子	9.0	3.0	5.5	3.0	5.5	5.5	10.0	3.0	11.0	3.0	5.5	8.0
	女子	5.5	8.0	11.0	3.0	3.0	5.5	5.5	5.5	9.0	3.0	10.0	3.0
テニス		9.0	6.0	10.0	8.0	3.0	4.0	3.0	5.0	7.0	3.0	11.0	3.0
卓球		6.0	3.0	7.0	3.0	11.0	3.0	10.0	5.0	4.0	9.0	3.0	8.0
バドミントン	男子	8.0	3.0	9.0	3.0	4.0	3.0	6.0	5.0	3.0	7.0	11.0	10.0
	女子	10.0	3.0	6.0	3.0	3.0	5.0	11.0	3.0	8.0	9.0	7.0	4.0
駅伝													
合計得点		102.5	61.0	125.0	56.0	66.5	74.0	111.0	64.5	121.5	76.5	109.5	82.5
順位													



競技団体紹介

立川市新体操連盟

会長 五明みさ子

立川市新体操連盟は、立川市中学校総合体育大会が平成13年に廃止となりましたが、8年間継続してきた新体操競技会のさらなる継続を願い立川市体育協会に申し出て、平成14年に準加盟団体、平成15年に正式加盟団体として承認していただき現在に至ります。平成14年の競技会の参加は個人52名、団体2チームでした。第3回の競技会から大会名称を、フレンドシップとしました。競技会は、回を重ねるごとに参加者が増え、平成28年の第14回競技会は、個人695名団体68チームとなりました。参加する選手の層も、チャイルドからジュニア、シニアまで広がり、全都から選手達が立川市に集結し熱戦を繰り広げております。さらに、競技会以外にも、年間事業としてジュニア育成実技講習会、コーチ・保護者向けセミナー、ファンタジー演技会を開催し「新体操」の普及に務めております。青少年の心身の成長を願い今後も着実に活動を続けたいと思います。

平成28年度 諏訪神社奉納弓道大会開催

立川弓道会 倉林裕子

今年も奉納弓道大会が、8月27日(土)午後1:00から近隣諸市の弓道愛好家を招き、諏訪神社境内の練成館弓道場で開催された。当日は朝から天候に恵まれず、大雨が降りしきる中での大会となり、参加者の気持ちを重くしているように感じた。

本大会は昭和25年郷土の護り神【お諏訪様】に弓道愛好者が弓道場を設置、同時に例大祭奉納弓道大会を開催した事が始まりです。大会には近隣の市町村から大勢の弓道愛好者が腕を競い、弓道振興と戦後復興に一役を担いました。それから半世紀以上経過した現在、毎年滞ることなく開催され、近隣の方々からは、待ち望まれる歴史ある大会となっている。今年の参加者は、立川弓道会会員42名と、悪天候と諸々大会が重なり近隣諸市からの参加者が19名で総計61名での大会となり近年になく小人数での大会であった。

大会は、個人戦 6射による上位者から入賞者が決定された。

閉会式にて『本大会に参加された方々が、これを機に弓道修練の励みとなり、近隣諸市の仲間作りで弓道をより一層楽しむことが出来れば幸いです。来年のお諏訪様のお祭りには、又一緒に弓を引きましょう』岡崎会長の挨拶で大会は締めくくられた。



TOPICS



立川のジムから東日本新人王が誕生!



11月13日、後楽園ホールで行われたプロボクシング「東日本新人王決勝戦」に於いて、石川ボクシングジム立川(JR立川駅北口)に所属する大野俊人(おおのはやと)選手がスーパーライト級で見事ノックアウトで優勝、東日本新人王を獲得しました!

試合は、4戦オールノックアウト勝ちの大野選手と5勝全てがオールノックアウト勝ちの小林選手との強打者対決となり、激しい打ち合いの末に小林選手が失神するという、映画ロッキーさながらの素晴らしい内容!

この日一番の盛り上がりとなり、新人王とともに敢闘賞も受賞しました。

みなさんの応援の程、宜しくお願いします。

【大野俊人選手の略歴】

◎1996年生まれの20才

◎戦績：5戦5勝(5KO)

◎東日本新人王/敢闘賞受賞

“レディース立川” シスタージャビットカップ初優勝

シスタージャビットカップ大会は、読売巨人軍が女子野球の底辺拡大を目指して、昨年創設した女子学童(小学生)を対象とした大会です。

東京都から29チーム、川崎市から8チームの計37チームが参加し、8月16日に東京ドームで開会式が行われトーナメント方式により実施、11月23日の決勝戦(ジャイアンツ球場)を目指して熱戦が繰り広げられた。レディース立川は昨年に続いての参加で、昨年は準々決勝で川崎市のチームに敗れている。今年は雪辱を期して春先から練習を積んできた。1,2回戦は相手にも恵まれて順調に勝ち上がったが、3回戦からは接戦が続き、決勝戦も2点を先行されてから逆転しての勝利であった。

優勝できた要因は、投手陣を中心とした安定した守りと、積極的なプレー(初球から好球必打、果敢な走塁姿勢)を各選手が出来たことであり、今回の優勝で、立川市少年野球のレベルの高さ、指導力の確かさが証明されたことになった。



学童の甲子園 立川へ!

平成28年8月7日(月)～8月13日(土)

『小学生の甲子園』と称される、第36回全国学童軟式野球大会が8月7日(日)神宮球場にて開会式を行い、各県代表51チームが8日(月)より「神宮球場」「駒沢球場」「大田スタジアム」「稲城球場」「府中球場」「八王子球場」「立川球場」の7球場に分かれ、熱戦が繰り広げられました。

立川球場では、暑い中3試合が行われ、元気ハツラツとしたプレーが見られました。各球場で勝ち進んだチームは13日(土)の「大田スタジアム」の決勝戦を目指しましたが、結果、前評判通り大阪府が優勝しました。

ジュニア体力及び競技力向上事業
ちびっ子野球オリピック

平成28年9月11日(日)立川市「ジュニア体力及び競技力向上事業」として、小学校3年生以下のちびっこ及び保護者を対象に市内8校(西砂小学校・第九小学校・第十小学校・幸小学校・第五小学校・第一小学校・第六小学校・若葉小学校)で野球教室を行いました。



当日は天候が悪く開催が危ぶまれた中で大勢の参加があり、各会場は熱気あふれる中で野球教室を行いました。

この特殊ボールによるこの事業は平成30年まで行う予定です。

参加者(小学生)226名・父母147名・会場担当チームコーチ61名・計434名

野球に大切な①大きな声で挨拶する事、②道具を大切にすること、③共に行う仲間を大切にすることから始まり、野球の基礎である「投げる」「捕る」「走る」を各ブロックに分けて指導者のもとで元気にボールを追っていました。

加盟団体

- 地区体育会
 富士見町体育会
 柴崎町体育会
 錦町体育会
 曙町体育会
 高松町体育会
 羽衣町体育会
 砂川体育会
 栄町体育会
 若葉町体育会
 西砂川地区体育会
 幸町体育会
 柏町体育会
 陸上競技協会
 野球協会
 バレーボール連盟
 卓球連盟
 ソフトテニス連盟
 弓道会
 柔道連盟
 剣道連盟
 相撲連盟
 バドミントン協会
 ソフトボール連盟
 水泳協会
 クレー射撃協会
 空手道連盟
 バスケケットボール協会
 健康体操連盟
 サッカー協会
 テニス連盟
 合気道会
 ゲートボール協会
 武術太極拳連盟
 ダンススポーツ連盟
 ミニテニス協会
 ゴルフ協会
 トライアスロン協会
 新体操連盟
 吹矢レクリエーション協会
 自転車競技連盟
 ラジオ体操協会
- 会長
 石田清守
 中村岳四郎
 松村哲
 加藤保
 森島恒由
 市川貞二
 關川由
 佐藤吉栄
 津田利夫
 加治成訓
 山崎美弘
 岩淵定明
 坪内基治
 清水孝治
 五十嵐敬治
 經廣昌弘
 鏑本幸平
 岡崎幸雄
 伊藤満雄
 平山和郎
 浜田一郎
 馬場克久
 戸所辰雄
 森田孝二
 内藤真二
 須崎八朗
 福田一平
 横井有江
 岡部直士
 川島進
 向江隆次
 吉井保子
 高水正男
 稲田義四
 小川友一
 豊泉幸夫
 浅見義明
 五明みさ子
 河西信祐
 関根吉雄
 神藤春枝



平成 28 年度 賛助会員募集中 たちかわのスポーツ振興にご協力を

個人会員 1口 1,000円 何口でも可

団体会員 1口 5,000円 ”

振込口座 多摩信用金庫幸町支店/普通預金 0131672

(特非)立川市体育協会(トクヒ)タチカワシタイイクキョウカイ

皆様からの協賛金は、立川市の「明日のスポーツ界を担う青少年の健全育成と中高年齢者の健康増進・コミュニティ」に役立てます。

特定非営利活動法人 立川市体育協会



誠くん

スポーツ活動
以外の団体も
加入できます。



千春ちゃん

スポーツ安全保険®

スポーツ安全協会 検索 インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

公益財団法人 スポーツ安全協会
東京都支部 ((公財) 東京都体育協会内)

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

TEL 03-3481-2423

電話受付時間:午前10時~午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。



携帯電話から
資料請求ができます。